

国内クレジット認証委員会御中

審査結果概要書

平成 24 年 6 月 29 日

審査機関名 株式会社 JACO CDM

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	商店街における街灯照明の更新
排出削減事業者名	高円寺銀座商店会協同組合
排出削減共同実施事業者名	カーボンバンク株式会社
事業実施場所	高円寺純情商店街 (東京都杉並区高円寺北 2-7-13)
事業の概要	既存の水銀灯照明を高効率の LED 照明に更新することで、街灯の消費電力および CO2 排出量の削減を行う。
排出削減量の計画	【限界電源排出係数の場合】 【照明設備の更新】 2012 年度：97 tCO2/年 (事業実施期間合計：97 tCO2) 【全電源排出係数の場合 (参考値)】 【照明設備の更新】 2012 年度：56 tCO2/年 (事業実施期間合計：56 tCO2)
国内クレジット 認証期間	開始日 2012 年 4 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 006 照明設備の更新

2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している

3. 実施した審査手続の概要

審査手続により、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続
日本国内で実施されること	事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認した。 排出削減事業実施場所：高円寺純情商店街 (東京都杉並区高円寺北 2-7-13) 事業実施サイトの視察日付：2012年6月26日
追加性を有すること	1) 法的義務がないこと 本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、CO2 排出量の削減を目的として実施されたことを、事業者への質問等により確認した。 2) 設備が継続利用可能であること 排出削減事業を実施せず、設備更新を行わない場合、既存設備を継続して使用可能であったことを、質問等により確認している。 3) 投資回収年数 排出削減事業の投資回収年数は3.2年である。投資回収年数計算の根拠データについて、事業者及び関係者への質問及び検算、関連証憑との突合により適切性を確認している。また、投資回収年数については、補助金を除いた純投資額をもとに算出している。 5) 追加性判断における定性要因 本排出削減事業者は、かねてから区立杉並芸術会館と提携してCO2削減活動を行っており、また、国内クレジットの収益金を杉並芸術会館の活動支援に寄与するという形で区民への福祉に貢献するCSR効果も期待できることから、本事業を実施する意思決定に至ったことを事業者への質問により確認した。
自主行動計画に参加していない者により行われること	排出削減事業者への質問、その他関係者への質問、排出削減事業者の提出した誓約書の確認等により、自主行動計画に参加していない事業者であることを確認している。

<p>排出削減方法論に基づいて実施されること</p>	<p>1) 本排出削減事業は、承認排出削減方法論 006 に基づき排出削減量を計算しており、また、方法論の適用条件を満たしていることを確認している。</p> <p>【方法論番号 006 照明設備の更新】</p> <p>適用条件 1：事業実施前及び実施後の照明設備の仕様書(街路灯の図面)の参照、並びに現地視察により、水銀ランプから LED ランプに変更することで、事業実施前の照明設備よりも省電力の照明設備に更新されていることを確認している。</p> <p>適用条件 2：事業実施前の照明設備は、更新前まで正常に運転され当該業務を継続しており、引き続き運転可能であったことを、設備更新の前年度の電気料金請求書の確認、質問、及び現地視察により確認している。</p> <p>適用条件 3：事業実施後の電力使用量に最も影響を与える活動量は照明の点灯時間であり、これは、街灯が照度センサーにより自動点灯・消灯しているため、点灯・消灯時間および日没・日の出時間との関連を月に数回サンプリング的に記録する。また、国立天文台天文情報センターが提供する東京都の日没・日の出時間データと点灯時間を比較し、そこから平均的な点灯時間を算出することにより把握できることを、質問及び現地視察により確認している。</p> <p>2) その他、バウンダリの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリング方法が適切であることについて、それぞれ質問と関連証憑により確認している。</p>
-----------------------------------	--

4. 特記事項

該当なし。

以上